

## 平成30年度 第1回 富里市子ども・子育て会議 議事録

1. 日 時 平成30年11月21日（水） 13時30分～14時35分
2. 場 所 富里市役所 すこやかセンター2階会議室1
3. 出席者 内山雅広委員，斎藤まり子委員，藤崎武彦委員，高梨秀一委員，篠田祥子委員，渡辺健夫委員，宮川朱実委員，葉山憲一委員，新村浩章委員，小沼綾子委員，龍岡達子委員，荒野峰之委員，山田良江委員  
(欠席者) 大木みわ委員
4. 傍聴人 0名
5. 議 題
  - (1) 富里市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について
  - (2) 第二期「富里市子ども・子育て支援事業計画」について

### 6. 会議の経過

事務局：定刻となりましたので，只今より，富里市子ども子育て会議を開催いたします。お手元に委員名簿を配布させていただいておりますが，これまで委員を務めていただきました富里高校校長の櫛引恒年様の人事異動に伴いまして，再度，ご推薦いただき，新しく新村浩章様が委員に就任されましたので，会議に先立ちまして委嘱状交付式をとりおこないたいと思います。新村様，お手数ですが，前の方へお願いいたします。

#### 【委嘱状交付】

ありがとうございました。

それでは，新村様よりご挨拶を頂戴したいと存じます。よろしく願いいたします。

#### 【挨拶】

ありがとうございました。

今回の会議は，平成30年度第1回目の会議となります。担当職員に変更がございますので，ここで事務局の紹介をさせていただきます。それでは，健康福祉部長より順に自己紹介をお願いします。

#### 【各自自己紹介】

事務局：それでは、会議に移りたいと思います。本日は、大木委員が欠席となっておりますが、富里市子ども・子育て会議条例第6条第2項に規定されておりますとおり、委員の半数以上の出席となりますので、本日の会議が成立しております事をご報告いたします。

それでは只今より、平成30年度第1回富里市子ども・子育て会議を開会いたします。まず、会長にご挨拶いただきたいと思います。龍岡会長よろしくお願ひいたします。

会 長：こんにちは。今回は、平成30年度第1回目の会議ということですが、今年も余すところ1か月となりましたが、女性が社会に進出して貢献していく時代ですけれども、まだまだ子育ての環境という意味では、整えていく必要があって、なかなか活動しにくいという面もまだまだ残されていると思います。依然として女性には厳しい環境だろうなと思います。そのような中、幼児教育無償化とかが話題になっているので、そのあたりの話もあるようでございます。それでは、本日の議題は、「富里市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について」と「第二期富里市子ども・子育て支援事業計画について」になりますので、皆さんの活発なご意見をいただきながら進めていきたいと思ひますのでよろしくお願ひいたします。

事務局：ありがとうございました。それでは、富里市子ども・子育て会議条例第6条第1項により、会議の議長を会長にお願いしたいと思ひます。龍岡会長よろしくお願ひいたします。

会 長：それでは、議題に入らせていただきます。

本日の議題はお手元の資料にございますとおり2件ございます。

最初に議題(1)「富里市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について」事務局より説明願ひます。

#### 【事務局から説明】

会 長：「富里市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について」事務局から説明がありました。ご意見、ご質問はございますでしょうか。

委 員：基本施策の2の一時保育の利用延べ人数が平成29年度に減っていますが、平成31年度の目標値と差異があるように思ひます。平成28年度から平成29年度にかけて利用人数が減っているのですが、認定こども園など受け皿が増えたことによって減っているのかなと勝手に解釈するのですが、第二期計画策定する際は、そのようなことも考慮しながら目標値を設定していくと思ひます。それから休日保育にかかる検討会議の実施とありますが、平成31年度1回とありますが、平成31年度に1回開催するというこの

認識でよろしいでしょうか。

事務局：一時保育の利用延べ人数が 1,798 人となっておりますが、訂正させていただいて、こども館の一時保育利用延べ人数を加えさせていただきまして 3,270 人とさせていただきます。これらの人数の利用を含めまして第二期の計画の目標値について定めさせていただければと思います。2点目の休日保育検討会議の実施につきましては、平成26年度から平成29年度まで0回でしたので、これはあくまでも目標値として年1回程度は実施していくという計画で現在のところ進めている状況でございます。

委員：基本目標2の基本施策2子育てネットワークづくりの子育て交流会開催回数が平成29年度19回となっておりますが、目標値が13回と減っているのはどういった理由があるのでしょうか。

事務局：昨年度、計画の一部見直しを実施した経緯があるのですが、担当課の方で平成28年度の実績を踏まえて、目標値を下げさせていただいているところでございます。しかしながら、平成29年度実績が目標値を上回った回数を実施されたということでございます。第二期計画策定の際は実績等を再度踏まえて目標値の設定をしていきたいと考えております。

委員：1点質問ですが、民生委員・児童委員に対する研修参加人数の目標値が4人となっております。資料1の内容を見ますと民生委員・児童委員さんが65名いらっしゃいます。65名の内どの程度の方が研修を受けられているのかデータはございますか。

委員：この研修は、主任児童委員さんが対象となっているので、主任児童委員は6名となっております。6名の中でその日研修に参加できる方ということで目標値が4名となっているのだと思います。

委員：基本目標1の基本施策5の障がいのある子どもなどへの支援の充実で心理発達・作業療法・理学療法などありますけれども、過去の実績値を見ると年40回など記載がありますが、平成28年度・平成29年度は数字が落ちてきているが、これは延べ相談件数なのか1家族あたりの年間の相談件数なのか。

事務局：件数なのか回数なのか担当課の方に確認しまして、何らかの形でご回答させていただければと思います。申し訳ございません。

委員：個人的な話になってしまうのですが、私の3番目の娘が5歳で吃音で障がいといえば障がいなんですけれども、こども園を通してことばの相談に行っているのだが、私の家庭は、共働きでなかなか時間が作れない状況であります。1回キャンセルをしたことがあり、先生方も忙しいので2か月先になってしまった。個人的な意見なんですけれども、やっていることは素晴らしいと思いますので、受け入れる先生をもう少し人数を充実させていただけたらいい

などと思います。先ほど聞いた目標値が下がっているということにつながるのですが、富里市はすべての子どもに質の高い教育・保育を提供する目標があるので、なるべく高い目標を設定していった方がいいのではないかと思います。

会 長：その他ご意見等はございますか。無いようでしたら、「富里市子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について」は、以上といたします。

それでは、次の議題に進みたいと思います。

議題（２）「第二期「富里市子ども・子育て支援事業計画」について」事務局より説明願います。

#### 【事務局から説明】

会 長：「第二期富里市子ども・子育て支援事業計画」について事務局より説明がありましたが、方法や質問内容などがこれが最終意見ですよね。

事務局：本日、ご意見をいただきまして修正すべきものは修正させていただきまして、１２月には調査票を配布させていただきたいと思っております。

会 長：何かご意見・ご質問がありましたらお願いいたします。

委 員：休日保育に関して調査の結果、ニーズが高かった場合、検討をされていくと思いますが、現状を考えると職員の数もそうですが、なかなか受け入れが難しいところがあると思います。ニーズがあるということで、オープンすると利用する方が増えてきて、対応ができるのかということが気になります。

事務局：まず、ニーズ調査をさせていただいてその集計結果等をまたこの会議においてご報告させていただきます。休日保育につきましても、その結果を踏まえて今後、第二期計画に向けて富里市としてはどのような方向づけをしていったらよいのかというのは、子ども・子育て会議などで意見をいただきながら進めていければと思っております。

委 員：私が読み込めてないのかもしれないですが、両方の調査票の問１２の「保護者の就労状況についてお伺いします」のところ、ひとり親の方の場合、記載しづらいような気がするのですがいかがでしょうか。

事務局：ありがとうございます。こちらにつきましては、カッコ書きでひとり親の方々についての説明書きを追加しようと思います。

委 員：同じように就学前の調査票の問２７もひとり親の方々もいると思いますので、説明書きの記載をお願いしたいと思います。

事務局：承知しました。同じように加えさせていただければと思います。

会 長：私から少し意見なのですが、先ほどの休日保育の関係で、医療関係とかは輪番制を採用しているところもあります。１つのアイデアとして可能なのか。

これは意見ですので、できるかは別として、マンパワーが不足していることはどの職種でも同じです。その中でやりくりしていくにはどうしたらよいかというところだと思うのですが、1つの案としてなので考えてみてください。その他に何かご意見等ありますでしょうか。

委員：さきほどの休日保育のお話ですが、要望があつたら開けなくてはいけないのか、一年中子どもが預けられてしまうと、親の役目とは何なのだろう、親子の絆はどうなるのだろうと思うところもあります。学童クラブに通う子が、元気が無くてどうしたのかなと思うと朝ごはんを食べてきていなかったり、基本的な身支度もせずに来る子もいて心配になることがありますし、発達障がいの子も増えている感じがします。行政が全部やっていたのかなという疑問は湧きます。

委員：おっしゃることはよくわかります。ただ、地域的に空港に近いということもあり、シフト勤務の方も多く、土日、朝晩勤務される方もおり、時間の空いている時は子どもの面倒は見れると思いますが、なかなかそうでないという方もいると思いますので、そこをどこまで考えてあげるかと、コミュニケーション不足という点についてどうやって親に伝えていくのか、両方から考えていかないと上手くいかないと思います。

会長：若いお父さんお母さんにも勉強してもらったらどうかというニュアンスだと思いますが、親も成長していくことも必要で、もちろん行政が充実していることも大事だと思いますが、そのうえで学習してもらうことも必要かなと思います。

委員：私も1歳の子どもがいますが、専業主婦ということもあるかもしれませんが、なかなか情報を得る機会が無く、社会との繋がりが少ないと感じていますし、若いお父さんお母さんもそう感じているのではないかと思います。

会長：市ではホームページもあると思いますが、若い方はそういったもので情報を集められると思いますので、情報の提供というのは必要ですね。

事務局：市の情報提供の手段としてホームページや広報紙などがございますが、若い世代の方はSNSで情報を集めるというのが多いのでしょうか。その方法についても考えていかなければならないと思います。

委員：市でもホームページなどで情報の提供をされて、窓口なども充実していると思います。親に対して行政であれもこれもというのは行政もいっぱいいいですので、やるならやるで充実してほしいですが、さきほど共働きの方の話も出ましたが、保育園でも保護者同士で話をする機会が少ないので、例えば、地域フォーラムのような話し合いのできる環境がほしいと思います。

委員：学童の支援員がなかなか集まらないです。高齢の方もがんばっていただいています。2年後には支援員の制度ができて、支援員がいないと開設できな

くなってしまいます。今度、支援員の研修に行くのですが、研修を受けるだけで卒業証明書など色々な証明を求められます。人材不足という中でこれまでボランティアという気持ちで高齢者の方もがんばっているのに、千葉県に対して簡素化してほしいという要望をしました。

委員：資格取得に関して、県に富里市でやってもらうということはできないのですか。

委員：前は成田市でやっていたようですが、最近は千葉でしかやっていないということです。行くのも大変なので、千葉県へ意見を出しています。

会長：その他ご意見等はございますか。特に無いようでしたら、「第二期富里市子ども・子育て支援事業計画について」は、以上といたします。これで本日のすべて議題が終了いたしましたので、これにて議事を終了して、事務局にお返しします。

事務局：龍岡会長ありがとうございました。

それでは、「その他」といたしまして、子ども課太田主査より幼児教育の無償化についてお知らせいたします。

#### 【太田主査 説明】

事務局：委員の皆様から今の件で何かご質問等ございますでしょうか。

委員：給食費は保育単価に入っていますが、これは認めないという話はできていますでしょうか。

事務局：それにつきましても、新聞報道が先行している状況でして、現在のところ無償化の対象外とするというような方向で進んでいるようですが、正式決定には至っていないようでございます。

委員：給食費の徴収を保育園で行うのか、市で行うのかについてはいかがですか。

事務局：現在国から示されているのは本日お配りした資料のみとなっていて、

国からの説明もない状況ですので、年明けぐらいには具体的な内容が示されてくると思いますので、その際は、皆様にもお知らせしたいと思います。

委員：無償化が実施されると、富里市内の待機児童は多くなると思いますが、保育士不足で定員いっぱいまで預かれない状況もありますので、保護者の過度の期待にならないように細かい丁寧な情報の提供をお願いしたいと思います。

委員：保育士へのアンケートの結果では、保育士とすると無償化には反対で、潜在保育士もかなりいますが、その人達が保育士にならないのは給与や保護者対応、事務量などの問題で、なかなか増えていません。私の保育園でも保育士不足で定員まで預かれない状況です。そういった中で無償化するのは不安があるということです。昨日も全国市長会でも無償化反対だと言っていました。

当初は国が全額を持つとなっていました，話が変わってきている。

委員：国の方針はありますが，地方自治体はやっていかなければならない，現場は保育士が不足している。無償化となれば保育需要が上がる事は間違いなく，現場の先生はいっぱいいっぱいでやっていただいていることは保護者としてよくわかっています。ですので，富里市としては今後どうしていくのかを考えていかないといけないと思います。

事務局：無償化の件については，今回の就学前児童用の調査票に設問を加えさせていただいております。

委員：現場の先生方は大変だと思います。無償化になれば，それほど必要が無くて子どもを預けてしまおうという方も出てくると思います。

委員：どこの市町村に聞いても，やっぱり大変です。大きい市町村はある程度予算もあります，なんでもかんでもやりなさいと市町村に下ろされて小さい市町村は職員が少ないのにやらなければならない。現実を国は知ってほしいと思います。

事務局：国からは財源等について具体的な内容はまだ示されておりません。それから，先ほどご質問のありました心理発達相談の回数ですが，平成26，27年度に回数が増えている理由としては，ムーブメント研修を実施したことによって回数が増えており，その後その資格を職員が取得したことなどにより回数が減っているとの事です。

事務局：その他何か皆様からございますでしょうか。特に無いようですので，以上をもちまして，平成30年度第1回富里市子ども・子育て会議を終了とさせていただきます。なお，次回の会議は，日程が決まり次第，あらためてご案内させていただきますのでよろしくお願いいたします。

本日は，ありがとうございました。